

吹田市視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画（読書バリアフリー計画）の素案に対する意見提出と市の考え方について

1 提出期間 令和4年（2022年）9月20日（火曜日）～  
令和4年（2022年）10月20日（木曜日）

2 提出意見数 6件（2通）

3 提出意見 以下のとおり

No.	提出意見	市の考え方
1	<p><b>素案P9 &lt;方向性1&gt;アクセシブルな書籍等の充実(1)について</b>                      「市内ボランティア団体が所蔵、製作している資料も市立図書館として収集し、提供できる書籍等の充実を図る」という趣旨のことを加えていただきたいと思えます。</p>	<p>計画には対象を個人・団体に限定せず、収集を継続する旨記載しています。                      なお、図書館の資料は、視覚障がい等の方にとって分かりやすく、使いやすいものである必要があり、本市ではそうした条件を満たすために、一定の基準を定めています。                      引き続き、製作ボランティアの養成や積極的な資料収集に努めてまいります。</p>
2	<p><b>素案PI0 &lt;方向性2&gt;製作、サービスに係る人材育成・体制の整備について</b>                      視覚障害者の意見を聴いて対応されていると思えますが、朗読や点字などのボランティア不足によりサービスを受けられないことのないよう広く呼びかけ充足することが望まれます。</p>	<p>図書館では、今後も継続して、音訳者や点訳者の養成講座や研修を開催してまいりますと考えております。養成講座の開催にあたっては、市報や図書館ホームページ、SNS等を活用して、周知を図ってまいります。</p>
3	<p><b>素案PI1 &lt;方向性3&gt;利用しやすい設備（機器）、サービスの充実について</b>                      ITの普及に伴い、視覚障害者がZoomで参加できるように対応してはどうか。画面でなく声がしっかり届くことで一方的でなく双方向のやりとりができるのは良いと思えます。</p>	<p>図書館では、令和4年（2022年）1月からWeb会議システムを利用した対面朗読サービスを実施しております。今後も継続して、サービスの周知と利用促進を図ってまいります。</p>

4	<p><b>素案PII &lt;方向性4&gt;サービスに係る情報発信と関係者の連携協力</b></p> <p>昨年国立民族学博物館にて「手で触れる点字」を観たがイメージが広がるような立体的な作品に触れることによって書物に奥行きを与えることができればと思います。(例、野菜、果物、米、生き物など)</p>	<p>関係機関と連携協力しながら、それぞれの活動内容や利用方法等の情報発信に努めてまいります。</p>
5	<p><b>素案PII &lt;方向性4&gt;サービスに係る情報発信と関係者の連携協力(2)について</b></p> <p>「市内ボランティア団体の提供するサービス」も加えていただきたいと思えます。</p>	<p>毎月発行している「声の市報すいた図書館だより」の発行を継続すると共に、関係機関と連携協力しながら、それぞれの活動内容や利用方法等の情報発信に努めてまいります。</p>
6	<p><b>素案PII &lt;方向性4&gt;サービスに係る情報発信と関係者の連携協力について</b></p> <p>新刊の案内など情報が少ないので視覚障害者の意向に沿ったジャンル別の提供をより多くできる工夫をしてほしいと思えます。</p>	<p>「声の市報すいた 図書館だより」では、ジャンル別に資料を掲載しております。また、作者名やジャンル名等から、該当する音訳図書、点訳図書等を検索し、本の内容を紹介するサービスも行っております。今後も継続して、サービスの周知と利用促進を図ってまいります。</p>